

自己評価結果公表シート

池田五月山教会幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教の理念に基づき、自己を愛し、他者を愛する自律した豊かな人間性を培うことを目指す。

- 1、一人ひとりの個性を尊重し、発達に応じた適切な環境を整える。
- 2、自由活動を通して自ら心を動かし、考え、探求し、判断できる子どもを育てる。
- 3、遊びを通して、想像力、創造性を育てる。

2、2016年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目にそって自己点検、自己評価を実施することによって、職員自らが客観的に自園を見つめる目を養い、施設の点検、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、2016年度 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
支援教育	<ul style="list-style-type: none">・個別の指導計画をもとに、支援方法の共通理解を図った。・保護者との信頼関係を築き、情報の共有につとめ、相互理解を図った。・専門機関との連携、事例検討などを通して学んだ。・それぞれが積極的に研修会に参加し、その情報を共有した。
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・防犯意識が高められるように、声を掛け合った。・さまざまな想定のもと避難訓練を月に一度実施した。・通園路に職員が立ち、駐車や飛び出しなどについて保護者にも喚起した。
異年齢保育	<ul style="list-style-type: none">・保育について振り返り、学びを深める。・異年齢と学年ごとのどちらのカリキュラムも立案し、必要な経験が漏れないように努めた。・クラスだよりと学年だより・ホームページや掲示板を通して保育の可視化につとめ、保護者の理解を求めた。
保護者の満足度の把握	<ul style="list-style-type: none">・保育理念に則り、園の独自性・特色を大切にすると共に、保護者のニーズを把握し、今後の園のあるべき姿を検討した。・園の保育について感じたことを、連絡帳や保育参加のアンケートを通して保護者の思いを把握するよう努めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員一人ひとりが自分の保育や役割を振り返り、自己評価・自己点検できる意識をもつようになった。個々の保育者の質を高めると共に、園としての保育の質の向上につなげる。そのため全員ではなす機会を積極的に作り、共通の理解と価値観が育てられるよう努めた。配慮の必要な子どもたちについても園全体で見守ることを大切にし、どこにいても誰といても必要な援助が出来るよう努めた。異年齢保育が教会幼稚園の保育として定着してきたことは、異年齢保育を当園の保育として理解し、協力してもらえるように、保護者に情報発信することを大切にしてきたことの評価と考える。

5、今後取り組むべき課題

評価項目	取組状況
支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画をもとに、支援方法の共通理解を図る。 ・保護者との信頼関係を築き、情報の共有につとめ、相互理解を図る。 ・専門機関との連携、事例検討などを通して学ぶ。 ・それぞれが課題を持ち、積極的に研修会に参加しその情報を共有できるようにする。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯意識を高め、保護者の意識も高まるよう働きかける。 ・さまざまな想定のもと実施している避難訓練に防犯訓練を取り入れる。 ・救急、救命講習会を企画し保護者も一緒に参加できる機会を作る。
異年齢保育	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児混合保育についての学びを深めるため、保育実践の振り返りの機会を重ねていく。 ・異年齢、学年ごとのどちらのカリキュラムをも立案し、必要な経験が漏れないように配慮する。 ・年長児の経験を大切にするため年長の時間を増やす。 ・クラスだよりと学年だより・ホームページや掲示板を通して保育の可視化につとめ、保護者の理解を求める。
保護者の満足度の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念に則り、園の独自性・特色を大切にすると共に、保護者のニーズを把握し、今後の園のあるべき姿を検討する。 ・園の保育について理解を深め、情報発信し安心して過ごせるように努める。疑問や質問にはその都度丁寧な対応を心掛ける。

6、学校関係者評価

- ・一人ひとりの子どもを園全体（預かり保育まで）で見ていることが嬉しい。
- ・どの先生も、どんな時も手を止めて子どもの話を聞いてくれることがありがたい。
- ・「クラスだより」、「学年だより」、「そだち」などを通して、園から保育の様子を発信されているが、量が多く読むのが大変な時がある。先生たちの仕事量も多くなるので、もう少しスリム化を図ってもいいのでは。しかし、園と家庭を繋ぐ大切なツールではあるので、文章やタイミングの改善も必要。
- ・連絡帳の活用の仕方がよく分からない。
- ・安全管理については門扉の改善をお願いしたい。蛇腹の門扉は開閉がしづらい。外側の門扉は音がうるさいので、近隣にご迷惑なのでは。大きく開くので、目の前の道路に飛び出さないかいつも気にかかる。
- ・登、降園時に門や四つ角に職員の姿があると、ホッとする。
- ・子どもが開錠する様子は減ったが、保護者を探して門のところまで来る年少児がいるので、顔を確認して園児を出すことを保護者にも徹底して危険のないようにしたい。
- ・異年齢保育は兄弟のように過ごせるクラスは大切な場所。年長への憧れや、小さい子への接し方は学年ごとのクラスでは育まれないので、続けてほしい。

7、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。